

JISA記者会見・懇談会開催

平成25年7月1日、JJK会館において報道記者及びマスコミ関係者を対象とした「JISA記者会見」が開催された。JISAからは浜口友一会長をはじめ、五十嵐隆副会長、國井秀子副会長、横塚裕志副会長、河野憲裕副会長・専務理事が出席し、報道関係者は16名が参加した。

最初に浜口会長より「このたびの消費増税のシステム対応は特に問題なく乗り切ることができた。一方、開発案件は増えてきている。特にマイナンバーについては、政府の方は徐々に立ち上がりつつあるが、民間や地方自治体のシステム対応はこれから慌ただしくなるのではないかと思っている。人材が不足するという話もあるが、一方で当業界では様々な課題が解決されずに残っており、忙しい中でも対応していきたいと思っている」旨、挨拶があった。

その後、各副会長からは、担当する各委員会の今年度の活動テーマについて、抱負や問題認識が示された。なお、市場創造チャレンジ委員会とビジネス基盤強化委員会については、担当副会長が欠席のため河野専務理事が説明を行った。

記者からは「日米の格差の具体的な内容は何か（開発技術、社会的な認識、企業トップの意識）、キャッチアップするにはどうすればよいのか」「産官連携の狙いは」「人材需給や単価の見通しは」「人手不足で新事業を創造するような人材を育成する余裕がなくなっているのではないか」「米国ではエンタープライズ系のサービス売上がマイナスになってきている。このトレンドはタイムラグをもって日本にやってくると思われるが、JISAとしてどう対応するか」などについて質問があり、会長及び当該分野を担当する副会長より、JISAとしての取組の方向性や将来展望について回答した。

記者会見終了後、懇談会が行われ、報道記者及びマスコミ関係者と新役員との間で活発な交流が行われた。

(田畑)